

自己評価結果

令和3年度

1.本園の教育目標

・明るく伸び伸び元気よく・豊かな心を大切に・みんな仲良く手をつなごう・自分で考え自分でできる

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ

3.評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の計画性	園の教育課程は幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い適正に編成されている。
教職員体制の充実	園長、副園長、事務長、主任、保育教諭など、配置基準を上回る職員を配置し、特別支援の体制も整っている。預かり保育担当の職員も複数配置して、保育の充実に努めている。
教育環境の構成	幼児が先ず安全で安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。そして、幼児が主体的に活動を行い、発達に必要な経験を積んでいくことができるような環境づくりを工夫している。
研修や研究	個々の教職員がそれぞれの課題に応じて、外部研修に参加できる体制を整えている。また職員のスキルアップのために、講師を招いて毎年、テーマを決めて園内研修を行い、保育研究に努めている。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の教育方針に基づいて、幼児期の発達を踏まえた教育課程がしっかりと立てられており、無理なく計画が実施され、園児も順調に成長している様子が見受けられる。また外部講師を招いての園内研修も年間で計画が立てられ、教職員のスキルアップを図っていこうとする園の努力が認められる。

5.今後取り組むべき課題

職員の採用が年々、困難になって来ているため、いかに職員をコンスタントに確保していくかが経営的な課題となつてはいるが、保育教諭の仕事にやりがいを感じるような職場環境を作っていきたい。